

産業衛生学専攻博士前期課程への入学を希望される方へ

作業関連疾患予防学領域

1. 研究テーマについて

作業関連疾患予防学領域では、以下の研究テーマを想定しています。

作業関連疾患の予防に関する研究

基本的に大学院生が担当している実務関連分野に即した作業関連疾患の課題を抽出し、それに対する予防的課題について探求すること、
例えば、

- 呼吸器疾患予防に関連した、電動ファン付き保護具の実用性および普及に関する研究
- 生活習慣病に関する、ウェアラブル端末を用いた効果的な作業管理に関する研究
- 振動工具作業者の早期発見早期診断に関する研究
- 腰痛や慢性頭痛など慢性疼痛をどのように取り扱うかに関する研究
- 健康診断記録をどのように活用するか、個人健康情報（PHR）の有効活用に関連して、健康データベース活用についての研究 など

2. 受け入れ要件の目安

一般入学者および週1日程度の対面指導が可能な社会人入学者については、受け入れ要件はありません。

一方、主にリモートでの指導を前提とした社会人入学を希望される場合、2年間の修学期間で必要な成果を確実に上げるために、以下を受入れの目安としています。以下の項目のうち、2つ以上の項目を満たすこと

- 想定される研究を行うことができるフィールドを確保できている。
- 想定される疫学的分析手法を理解している、あるいは自己学修意欲が高い。
- 何らかの学術論文を執筆、あるいは学会発表をした経験がある。

問い合わせ先：作業関連疾患予防学 代表メールアドレス
j-byotai@mbbox.med.uoeh-u.ac.jp